

〈イベントレポート〉

「第9回健康寿命をのぼそう！アワード」最終審査・表彰式を開催

仲間由紀恵さんと宇賀なつみさんが健康について語るスペシャルトークショーも実施

厚生労働大臣 最優秀賞

- <生活習慣病予防分野> 株式会社ファミリーマート
<介護予防・高齢者生活支援分野> 毛馬コーポゆうゆうクラブ
<母子保健分野> 特定非営利活動法人 ZERO キッズ

厚生労働省及びスポーツ庁は、健やかで心豊かに生活できる社会の実現を目指し、健康増進・生活習慣病予防推進について優れた取組を行う企業・団体・自治体の表彰を行う「第9回健康寿命をのぼそう！アワード」を、2020年11月30日（月）にイイノホール&カンファレンスセンター（東京都千代田区）で開催しました。本表彰式は、生活習慣を改善し健康寿命をのぼすために厚生労働省が行っている国民運動「スマート・ライフ・プロジェクト」の一環として実施するもので、今年度で9回目を迎えます。なお、今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を鑑み、受賞者を含め無観客での開催とし、本表彰式の模様は、オンライン（YouTube Live）にて生配信しました。

第一部<介護予防・高齢者生活支援分野>では、毛馬コーポゆうゆうクラブ、<母子保健分野>では、特定非営利活動法人 ZERO キッズの取組がそれぞれ厚生労働大臣 最優秀賞を受賞されました。（※受賞結果の詳細は次頁をご覧ください。）

第二部<生活習慣病予防分野>では、厚生労働大臣賞候補の6者がそれぞれオンライン上のプレゼンテーションによる最終審査を経て、株式会社ファミリーマートの取組「ファミリーマートの減塩への取り組み～『こっそり減塩の推進』～」が厚生労働大臣 最優秀賞に輝きました。ロート製薬株式会社、パ・リーグウォーク実行委員会、豊田市が、企業・団体・自治体の各部門で厚生労働大臣 優秀賞を受賞されました。また、特にスポーツ・運動を通じて優れた取組を行うスポーツ庁長官 優秀賞には、東芝ライテック株式会社、京都市左京区地域介護予防推進センター、尾張旭市が企業・団体・自治体の各部門で受賞されました。

さらに当日は、本年度の「スマート・ライフ・プロジェクト」オフィシャルアンバサダーの仲間由紀恵さん、オフィシャルサポーターの宇賀なつみさんによるスペシャルトークショーも行いました。



「第9回健康寿命をのぼそう！アワード<生活習慣病予防分野>」記念撮影

主催者挨拶では、田村憲久厚生労働大臣の代理として正林督章厚生労働省健康局長が、「受賞された皆様から心からお祝いを申し上げます。日本全国で優れた取組が広がっていることを私も心強く感じております。厚生労働省では、『健康日本21（第二次）』において、健康づくりに自発的に取組む企業等の活動を支援するとともに、国民運動である『スマート・ライフ・プロジェクト』を展開しています。関係の企業、団体、自治体のご理解を得て、これらの取組に参加いただく団体も着実に増加しております。厚生労働省の取組としては、昨年5月には『健康寿命延伸プラン』を取りまとめ、健康無関心層を含め自然に健康になれる環境づくりや行動変容を促す仕掛けなど、新たな手法を活用し、健康寿命を延ばすための取組を強化しております。また室伏スポーツ庁長官ともしっかりと連携し、スポーツを通じた健康づくりについて各地域の取組をさらに応援していきたいと考えております。本日受賞した優れた取組の横展開を含め、全国の健康づくりの活性化に取組んでまいります」と述べられました。



主催者挨拶 正林督章 健康局長



スペシャルトークショーでは、仲間由紀恵さんと宇賀なつみさんに日頃から健康のために心掛けていることや健康維持のための取組についてお話いただきました。健康づくりについて特に意識していることとして、バランスの良い食生活を挙げる仲間さんは、「1日の野菜摂取量の目安となる350g以上の野菜を採ることを心がけて「野菜たっぷりのスープは困った時によく作ります。色々なお野菜を入れた温かいスープは体も温まるので、我が家ではよく登場するメニューです」と定番料理を紹介されました。仲間さん同様に食生活に気を遣っているという宇賀さんは、「食事のバランスが取れるように毎日食べたものを日記につけるようにしています。一週間単位で見るとなんとか調整できています。何を食べたかわかるよう書く習慣はここ2-3年続けています」と日頃の工夫についてお話しされました。

また、仲間さんの健康維持の秘訣は、「寝る前にストレッチをしています。スッキリ起きられ翌朝の寝起きが違います。ちょっとしたことを毎日続けていくことが大事」とお話しされました。一方でフリー転身後、より一層体調の変化や体調管理に気を付けるようになったという宇賀さんは、体調が悪くなる一歩手前で、「にんにくをもりもり食べるとすごくいいんです。風邪の引き始めに、にんにくを大量に刻んで餃子に入れたり、丸ごとオイル焼きにして食べたりしています」とご自身の健康法を明かしました。

そして、仲間さんからは「皆さんにも健康について意識を深めていただけたら、健康寿命を皆で延ばせていただけたらいいなと思っています」とメッセージをいただきました。

最後に、〈生活習慣予防分野〉辻一郎評価委員長より講評として、「新しいかたちの健康づくりが着実に進んでいることに勇気づけられる想いであります。特に健康無関心層への浸透、そして健康格差の縮小を目指している取組が多かったことは特筆すべきことだと思います。受賞された6者の取組は実に魅力的で参加しやすく、ポピュレーションアプローチの展開や健康無関心層への働きかけといった点で具体的な回答を示してくださったものと思います。さらに参加者の行動変容や健康レベル、医療費の改善などについてきちんと評価されていることも大変意義深く感じております。これらの取組が全国に横展開され、国民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小が実現することを祈願いたします」と述べられました。

記

名称：「第9回健康寿命をのばそう！アワード」

日時：令和2年11月30日（月）

【第一部】 11:00～12:10 <母子保健分野> <介護予防・高齢者生活支援分野>

【第二部】 13:00～15:45 <生活習慣病予防分野>

会場：イイノホール&カンファレンスセンター Room A（東京都千代田区）

主催者挨拶：厚生労働大臣 田村憲久 代理 厚生労働省健康局長 正林督章

ゲスト：スマート・ライフ・プロジェクト オフィシャルアンバサダー 仲間由紀恵さん

スマート・ライフ・プロジェクト オフィシャルサポーター 宇賀なつみさん

内容：

【第一部】

表彰式 <母子保健分野> 授与 厚生労働省子ども家庭局長 渡辺由美子

<介護予防・高齢者生活支援分野> 授与 厚生労働省大臣官房審議官 堀内斉

記念撮影

講評 <母子保健分野> 評価委員長 埼玉県立小児医療センター病院長 岡明

<介護予防・高齢者生活支援分野> 評価委員長 公益財団法人さわやか福祉財団 堀田力

【第二部】

最終審査の実施にあたって 厚生労働省健康局健康課長 鷺見学

厚生労働大臣賞受賞候補6者によるプレゼンテーション及び最終審査

スペシャルトークショー

スマート・ライフ・プロジェクト オフィシャルアンバサダー 仲間由紀恵さん

スマート・ライフ・プロジェクト オフィシャルサポーター 宇賀なつみさん

表彰式

<生活習慣病予防分野> 厚生労働省 健康局長 優良賞 授与 厚生労働省健康局長 正林督章

スポーツ庁長官 優秀賞 授与 スポーツ庁長官 室伏広治

厚生労働大臣 最優秀賞・優秀賞 授与 厚生労働省健康局長 正林督章

記念撮影

講評 <生活習慣病予防分野> 評価委員長 東北大学大学院 医学系研究科 教授 辻一郎

(注)「スマート・ライフ・プロジェクト」とは、「健康寿命をのばそう！」をスローガンに、プロジェクトに参画する企業・団体・自治体と協力・連携しながら、食生活、運動、禁煙、健診・検診について具体的なアクションの呼びかけを行い、更なる健康寿命の延伸を推進している国民運動。

<全受賞結果> (順不同)

<生活習慣病予防分野>

国民の生活習慣を改善し、健康寿命をのばすための運動「スマート・ライフ・プロジェクト」の一環として実施し、今年で9回目を迎えます。従業員や職員、住民に対して、生活習慣病予防の啓発、健康増進のための優れた取組をしている企業・団体・自治体から76件（企業38件、団体26件、自治体12件）の応募を受け、有識者からなる評価委員会による書類選考及び表彰式当日のプレゼンテーションにより、厚生労働大臣最優秀賞1件、厚生労働大臣優秀賞3件、スポーツ庁長官優秀賞3件、厚生労働省健康局長優良賞9件、厚生労働省保険局長賞2件を決定しました。正林督章健康局長及び室伏広治スポーツ庁長から大臣賞及び長官賞の表彰を行いました。

厚生労働大臣賞

| 表彰名 | 企業・団体・自治体名 | 取組タイトル |
|------------------|---|--|
| 厚生労働大臣 最優秀賞 | 株式会社ファミリーマート | ファミリーマートの減塩への取り組み～「こっそり減塩の推進」～ |
| 厚生労働大臣 優秀賞 企業部門 | ロート製薬株式会社 | 喫煙率0%達成に向けた卒煙への取り組み |
| 厚生労働大臣 優秀賞 団体部門 | バ・リーグウォーク実行委員会 (パシフィックリーグマーケティング株式会社内) | バ・リーグ6球団公式アプリ「バ・リーグウォーク」 毎日の歩数でチームを応援! |
| 厚生労働大臣 優秀賞 自治体部門 | 豊田市 | 地域特性に応じた住民共働による健康づくり「きらきらウエルネス地域推進事業」 |

スポーツ庁長官 優秀賞

| 表彰名 | 企業・団体・自治体名 | 取組タイトル |
|-------------------|--------------------|-------------------------------------|
| スポーツ庁長官 優秀賞 企業部門 | 東芝ライテック株式会社 | 『FUN+WALK』バーチャルウォーク日本縦断 |
| スポーツ庁長官 優秀賞 団体部門 | 京都市左京区地域介護予防推進センター | 養成したボランティアがリーダーとして運営・実施する「公園体操」。 |
| スポーツ庁長官 優秀賞 自治体部門 | 尾張旭市 | 寝たきりにさせないまちづくりをめざし、健康づくり推進員とともに取り組む |

厚生労働省 健康局長 優良賞

| 表彰名 | 企業・団体・自治体名 | 取組タイトル |
|-------------------------|--------------------------------|--|
| 厚生労働省 健康局長 優良賞 企業部門 | 大東建託株式会社 | 全社で取り組む健康増進!「朝食フォトコンテスト」で朝から元気に |
| | 株式会社NEXTAGE GROUP | アクティブ!街を綺麗にしながら心と体の健康をつなGO!!プロジェクト |
| | 株式会社博報堂DYホールディングス | 健康づくりをエンターテインメントへ ～行動変容促進プログラム「健診戦」～ |
| 厚生労働省 健康局長 優良賞 団体部門 | 間伐こもれび会 | 森林の癒し効果を活用した新たな運動提供スタイルの可能性を探る実証実験事業 |
| | スマートウエルネスコミュニティ協議会 (SWC協議会) | ロコミ戦略により「正しい健康情報」を国民の心に届ける健幸アンバサダープロジェクト |
| | 一般社団法人 千葉県歯科医師会 | 千葉県発 8029 (ハチマル肉) 運動による健康寿命延伸への取り組み |
| 厚生労働省 健康局長 優良賞 自治体部門 | 京都府 京丹波町役場 | 尿中塩分測定検査を活用した慢性腎臓病対策における5年間の保健活動評価について |
| | 新発田市 | 「オールしばた」でめざす「健康長寿のまち しばた」の達成に向けて |
| | 長崎県時津町 | 地元の酒店・菓子店や飲食店との協働で推進する高血圧対策(減塩への取組) |

厚生労働省 保険局長 優良賞

| 表彰名 | 企業・団体・自治体名 | 取組タイトル |
|-------------------|---|--------------------------------------|
| 厚生労働省 保険局長 優良賞 | 全国健康保険協会 北海道支部 | 禁煙啓発に関する複合型アプローチ ～全国1位の喫煙率から脱却するために～ |
| | 東洋インキSCホールディングス株式会社 社・トッパングループ健康保険組合 | 社員食堂のスマートミールを活用した生活習慣改善チャレンジプロジェクト |

<介護予防・高齢者生活支援分野>

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の実情に応じた優れた取組を行っており、かつ、それが個人の主体的な取組の喚起に資するような取組を行っている企業などから 71 件（企業 8 件、団体 39 件、自治体 24 件）の応募を受け、有識者による評価委員会で審査・選出された取組事例から厚生労働大臣賞、厚生労働省老健局長賞の表彰を行いました。

厚生労働大臣賞

| 表彰名 | 企業・団体・自治体名 | 取組タイトル |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 厚生労働大臣 最優秀賞 | 毛馬コーポゆうゆうクラブ | 学び合い助け合う長屋型大規模マンション |
| 厚生労働大臣 優秀賞 企業部門 | とれたて食楽部、Honey!ハニー!! | 「食」でつながり体も心もまとも元気に 通いの場×移動販売 |
| 厚生労働大臣 優秀賞 団体部門 | 形原一区町内会 「お助け隊」「まめだ会」 | 助け合い・支え合う・心豊かなまちづくり事業 |
| 厚生労働大臣 優秀賞 自治体部門 | 那須烏山市 | なすからすやま 高齢者ふれあいの里 |

厚生労働省 老健局長 優良賞

| 表彰名 | 企業・団体・自治体名 | 取組タイトル |
|-------------------------|-------------------------------------|--|
| 厚生労働省 老健局長 優良賞 企業部門 | イオンリテール株式会社北陸信越 カンパニー北陸事業部イオン高岡店 | 企業と行政がタイアップして取り組む健康づくり・介護予防 |
| | J A いび川デイサービスセンター 清流の里 | ふらっとカフェ（認知症カフェ） |
| | 株式会社 小島薬局 | できることから始めよう！介護予防！！ |
| 厚生労働省 老健局長 優良賞 団体部門 | 社会福祉法人 南三陸町社会福祉協議会 | 結がもたらすゆるやかなつながり |
| | 板橋区地域リハビリテーション ネットワーク（介護予防部会） | 「10の筋トレ」をきっかけに、高齢者の居場所と出番を作りたい！ |
| | 特定非営利活動法人 瀬戸地域福祉を 考える会 まごころ | 助け合い 支えあい 地域とあなたをつなぐ場所 |
| | 鶴見区シニアボランティア アグリ | 男性シニアボランティアGがこども食堂等へ野菜を提供。 さらに他分野でも特技を発揮中！ |
| | 阿久根市ころばん体操教室 | 心と体の健康に百点満点 みんなで『ころばん体操』教室 |
| 厚生労働省 老健局長 優良賞 自治体部門 | 宝塚市 地域福祉課 | 健康・生きがい就労トライアル |
| | 洲本市 | いくつになっても健康で元気（GENKI）に洲本市に住み続ける（すもっと）プロジェクト |
| | 和木町役場 和木町地域包括支援センター | 『みんなが生徒 みんなが先生』で健康づくり ～いつまでも自分で歩いて、口から食べよう～ |
| | 宇和島市 | 通いの場から広がる健康寿命延伸への取り組み、そして支えあいの地域づくり |
| | うきは市役所保健課・ 福富地区自治協議会 | 心と身体の健康拠点！健康サークル「ほっこり」 |

<母子保健分野>

母子の健康増進を目的とする優れた取組を行っている企業などから 98 件（企業 19 件、団体 75 件、自治体 4 件）の応募を受け、有識者による評価委員会で審査・選出された取組事例から厚生労働大臣賞、厚生労働省子ども家庭局長賞の表彰を行いました。

厚生労働大臣賞

| 表彰名 | 企業・団体・自治体名 | 取組タイトル |
|------------------|------------------|---|
| 厚生労働大臣 最優秀賞 | 特定非営利活動法人ZEROキッズ | マンションと地域をつなぐ多世代交流事業 |
| 厚生労働大臣 優秀賞 企業部門 | 株式会社AsMama | 知人同士の共助ICTプラットフォーム「子育てシェア」を活用した頼り合いコミュニティ形成 |
| 厚生労働大臣 優秀賞 団体部門 | 赤ちゃんともママの防災講座 | 乳幼児親子向け防災講座「赤ちゃんともママの防災講座」 |
| 厚生労働大臣 優秀賞 自治体部門 | 飛騨市 | 飛騨市産前産後ママサポプロジェクト |

厚生労働省 子ども家庭局長 優良賞

| 表彰名 | 企業・団体・自治体名 | 取組タイトル |
|---------------------------|------------------------|---|
| 厚生労働省 子ども家庭局長 優良賞 企業部門 | FUNFAM株式会社 | 日本発世界初。オンライン離乳食スクールでコロナ禍のママを孤立させないプロジェクト |
| | エキサイト株式会社 | WEラブ赤ちゃんプロジェクト |
| | 株式会社mitete | 一時保育マッチングサービスmitete |
| 厚生労働省 子ども家庭局長 優良賞 団体部門 | 久留米大学 | 子どもと親のためのヒーロー図鑑 ～こころを支えてくれるヒーローたち～（親子の心のHEROES） |
| | 特定非営利活動法人きずなメール・プロジェクト | きずなメール事業 |
| | 特定非営利活動法人わははネット | 縁結び・子育て美容-eki |
| | 東京家政大学 | 子どもも大人も創造力を豊かにするアートな遊びの場づくりプロジェクト |
| | 医療法人社団愛育会 福田病院 | 「福田病院 母子サポートセンター」児童虐待予防に向けた産婦人科医療機関の取り組み |

※自治体部門の該当はございませんでした。